

◆ 2019年度活動報告シート ◆

団体名：草加パドラーズ

22A-02

代表者：会長 木村高明

URL :

1. 活動が必要とされた状況

綾瀬川は、昭和50年代後半から連続15年間ワーストワンが続き、現在でもワースト5を脱却できず、水質汚濁や不法投棄ゴミが浮遊し流れている現状に心を痛め河川の再生を願い市民有志が草加パドラーズを立ち上げ、カヌーでゴミ拾いを始めた。もう一度清流をよみがえらせ、人々に安全で親しまれる河川を目指してこの活動を続けてゆく決意である。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ①川の再生を目指し、カヌーで浮遊ゴミ回収を実施した。
 - ・令和元年の1年間 毎週水、土、日の午前中実施、年間実施回数168回。
参加者1,656名。ゴミの回収量828袋(45ℓビニール袋)過去最高を記録。
- ②カヌーを通してスポーツ文化の普及活動を実施した。
 - ・夏休みカヌー教室 7月20日、21日の2日間 延べ22名参加。
 - ・カヌー体験会 4/27春のこどもフェスタ153名。8/17春日部市カヌー体験会90名。
8/18狭山市カヌー体験会30名。11/16彩の国ドリームフェスタ117名。
- ③行政や環境団体との連携
 - ・獨協大学伝右川再生プロジェクトとの合同ゴミ拾い活動5/26、8/10、11/2 延べ50名。
 - ・「川の国埼玉はつらつプロジェクト」で伝右川に2箇所の船着場を作成中。

3. 活動の成果

- ①回収ゴミ 828袋(45ℓビニール袋) ゴミ拾い参加者人数延べ1,656名。
- ②カヌー教室1回、カヌー体験会6回、参加者人数延べ998名。
- ③川口市、越谷市の環境団体や獨協大学との連携で、河川の美化活動が活発にできた。
- ④啓発冊子を作成し、近隣小中学校などの環境学習に利用してもらった。



4. 今後に残された課題

- ①現在会員数73名。会員が増えてきたので、活動資材などが不足気味。また、継続して啓発用冊子、DVDを制作する予算確保が必要で助成金を申請し確保していきたい。
- ②国・県・市とゴミの処理や相互の役割分担、提出書類、鍵の貸出、船着場の設置など連携がまだ不十分なので今後も継続して話し合い解決していきたい。
- ③「海ゴミゼロ運動」の活動を率先して実施し、引き続き河川再生に努力したい。